

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2021年1月14日
【四半期会計期間】	第39期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	株式会社荻番屋
【英訳名】	ICHIBANYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 葛原 守
【本店の所在の場所】	愛知県一宮市三ツ井六丁目12番23号
【電話番号】	(0586)76-7545
【事務連絡者氏名】	取締役経理部担当 石黒 敬治
【最寄りの連絡場所】	愛知県一宮市三ツ井六丁目12番23号
【電話番号】	(0586)81-0786
【事務連絡者氏名】	取締役経理部担当 石黒 敬治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第3四半期連結 累計期間	第39期 第3四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	38,329,214	32,961,770	51,495,720
経常利益 (千円)	4,387,769	2,345,725	5,424,271
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	2,781,060	1,456,177	3,257,928
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,568,962	1,833,424	3,027,666
純資産額 (千円)	30,564,950	30,300,686	31,023,417
総資産額 (千円)	44,107,886	41,259,239	45,438,370
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	87.11	45.61	102.05
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.7	72.8	67.7

回次	第38期 第3四半期連結 会計期間	第39期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	27.29	24.37

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ。)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社における異動については、次のとおりであります。

当社は、2020年6月にイチバンヤインターナショナルUSA INC. を設立し100%出資したことに伴い、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はないものの、新型コロナウイルス感染症の流行拡大等の影響で、店舗の休業や営業時間の短縮を余儀なくされること等によって、当社グループの経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続きました。外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた自治体からの営業自粛要請やインバウンド需要の消失等により、極めて厳しい経営環境となりました。

こうした環境の中、当社は宅配や持ち帰りでのテイクアウト販売を強化するため、ウーバーイーツや出前館等による配達代行の導入促進やインターネット受注の訴求強化等の取り組みを行いました。

また、感染症対策として、各店舗では、店頭で消毒用アルコール、カウンター席やレジ周りにパーテーションを設置した他、従業員につきましては、体温測定を含めた毎日の健康チェックの実施やマスク着用の徹底を行う等、お客様に安心してご来店いただけるよう努めました。

その他、フランチャイズ加盟店（以下、FC店という）への資金繰り支援策として、加盟保証金制度を廃止し、店舗ごとに預かっていた加盟保証金を全額返還（総額15億57百万円）した他、4月、5月に弁当販売支援（総額47百万円）や販売促進費徴収の免除（総額28百万円）を実施いたしました。

こうした対応の結果、直営店とFC店を合計した国内店舗の四半期ごとの既存店売上高は、第1四半期が18.5%減、第2四半期が11.3%減、第3四半期が8.3%減と推移、コロナ前の状況には至っておりませんが、徐々に回復傾向を辿ってきております。

海外におきましても新型コロナウイルスの影響を大きく受けましたが、店舗の既存店売上高は、国別にばらつきはあるものの全体的には回復傾向で推移いたしました。

ただし、足元では国内外で新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、予断を許さない状況が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が329億61百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益は19億71百万円（同53.5%減）、経常利益は23億45百万円（同46.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億56百万円（同47.6%減）となりました。

なお、当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は412億59百万円となり、前連結会計年度末比41億79百万円減少いたしました。このうち流動資産は202億59百万円となり前連結会計年度末比45億41百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が46億36百万円減少したこと等によるものであります。また固定資産は209億99百万円となり、前連結会計年度末比3億62百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が6億12百万円増加したこと及び、繰延税金資産が3億84百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は109億58百万円となり、前連結会計年度末比34億56百万円減少いたしました。これは主に長期預り保証金が15億55百万円、未払法人税等が10億52百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は303億円となり、前連結会計年度末比7億22百万円減少いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の67.7%から72.8%となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	115,200,000
計	115,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,926,000	31,926,000	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	31,926,000	31,926,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日		31,926,000		1,503,270		1,388,470

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,919,800	319,198	-
単元未満株式	普通株式 5,500	-	-
発行済株式総数	31,926,000	-	-
総株主の議決権	-	319,198	-

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社壱番屋	愛知県一宮市三ツ井六丁目12番23号	700	-	700	0.00
計		700	-	700	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,754,968	15,118,664
売掛金	3,012,094	2,878,975
商品及び製品	792,413	876,258
仕掛品	24,358	26,864
原材料及び貯蔵品	260,962	257,354
その他	956,554	1,101,353
流動資産合計	24,801,351	20,259,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,856,301	4,960,406
機械装置及び運搬具(純額)	756,856	723,462
土地	5,405,883	5,587,629
リース資産(純額)	1,394,348	1,270,889
その他(純額)	571,333	537,157
有形固定資産合計	12,984,724	13,079,546
無形固定資産		
のれん	44,066	27,541
その他	790,320	875,403
無形固定資産合計	834,387	902,944
投資その他の資産		
投資有価証券	588,005	1,200,048
繰延税金資産	1,112,671	728,289
差入保証金	4,806,064	4,795,755
その他	315,083	296,944
貸倒引当金	3,916	3,759
投資その他の資産合計	6,817,907	7,017,277
固定資産合計	20,637,018	20,999,768
資産合計	45,438,370	41,259,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,496,177	2,317,733
未払金	1,643,917	1,348,383
未払法人税等	1,074,979	22,659
賞与引当金	485,507	167,946
株主優待引当金	86,067	74,380
その他	819,023	840,069
流動負債合計	6,605,673	4,771,173
固定負債		
リース債務	1,126,267	976,316
退職給付に係る負債	913,351	973,456
長期預り保証金	5,262,673	3,706,799
資産除去債務	450,765	474,975
その他	56,221	55,831
固定負債合計	7,809,278	6,187,379
負債合計	14,414,952	10,958,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503,270	1,503,270
資本剰余金	1,388,470	1,388,470
利益剰余金	27,734,206	26,636,357
自己株式	2,048	2,574
株主資本合計	30,623,897	29,525,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,000	620,638
為替換算調整勘定	196	60,807
退職給付に係る調整累計額	71,171	51,262
その他の包括利益累計額合計	124,026	508,568
非支配株主持分	275,494	266,595
純資産合計	31,023,417	30,300,686
負債純資産合計	45,438,370	41,259,239

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	38,329,214	32,961,770
売上原価	19,991,271	17,742,667
売上総利益	18,337,943	15,219,103
販売費及び一般管理費	14,100,412	13,247,856
営業利益	4,237,530	1,971,247
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,300	21,632
受取家賃	566,562	580,468
その他	67,049	267,573
営業外収益合計	646,912	869,675
営業外費用		
支払利息	12,287	12,714
賃貸費用	463,984	465,664
その他	20,400	16,819
営業外費用合計	496,672	495,197
経常利益	4,387,769	2,345,725
特別利益		
店舗売却益	37,128	83,800
その他	133	795
特別利益合計	37,261	84,596
特別損失		
固定資産除却損	93,454	12,441
減損損失	187,972	147,479
その他	10,256	6,771
特別損失合計	291,683	166,693
税金等調整前四半期純利益	4,133,347	2,263,628
法人税、住民税及び事業税	1,232,045	617,885
法人税等調整額	87,698	191,246
法人税等合計	1,319,743	809,131
四半期純利益	2,813,604	1,454,497
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	32,544	1,680
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,781,060	1,456,177

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	2,813,604	1,454,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,557	425,637
為替換算調整勘定	132,300	66,619
退職給付に係る調整額	17,215	19,908
その他の包括利益合計	244,642	378,927
四半期包括利益	2,568,962	1,833,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,544,543	1,840,719
非支配株主に係る四半期包括利益	24,418	7,294

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社は、2020年6月にイチバンインターナショナルUSA INC. を設立し100%出資したことに伴い、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、徐々に回復するものの翌連結会計年度以降も、一定の影響が継続するという前提に基づいて、固定資産の減損損失の判定、繰延税金資産の回収可能性の判定等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く今後の状況によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
加盟店の金融機関借入の保証	212,280千円	176,592千円
	また、上記以外に加盟店の不動産 賃貸借契約について、1件の家賃の 債務保証を行っております。	また、上記以外に加盟店の不動産 賃貸借契約について、1件の家賃の 債務保証を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
減価償却費	1,031,822千円	1,033,009千円
のれん償却額	15,980千円	16,343千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	1,245,093	39	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金
2019年10月4日 取締役会	普通株式	1,277,016	40	2019年8月31日	2019年11月15日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月6日 取締役会	普通株式	1,277,015	40	2020年2月29日	2020年5月11日	利益剰余金
2020年10月7日 取締役会	普通株式	1,277,011	40	2020年8月31日	2020年11月20日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間
(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	87円11銭	45円61銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	2,781,060	1,456,177
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	2,781,060	1,456,177
普通株式の期中平均株式数(千株)	31,925	31,925

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、2020年12月28日開催の取締役会において、有限会社大黒商事の出資持分を取得し、当社の子会社とすることについて決議し、2020年12月29日出資持分を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 有限会社大黒商事
事業の内容 飲食店の経営

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、カレーハウスCoCo壺番屋をはじめとする外食事業を、国内外で1,480店舗(2020年11月30日時点)展開しており、当社独自のチェーン展開ノウハウを活用して、新たな業態を開発・育成していくことでグループ力の強化と企業価値の向上を図ることを経営課題のひとつとしております。

一方、有限会社大黒商事は、北海道旭川市内で「成吉思汗(ジンギスカン)大黒屋」(以下、「大黒屋」)を1店舗経営しており、同店は北海道を訪れる観光客のみならず、地元のお客様からも強く支持されている繁盛店であります。大黒屋を創業し20年近くに亘って育て上げてこられた織田賢児氏は、大黒屋の多店舗展開の夢を持って経営をされてきましたが、ご自身の年齢を鑑みて、自らの夢の実現を当社に託すことを決断されました。

当社といたしまして、大黒屋の商品力や成長性は極めて高いものであると判断し、有限会社大黒商事を子会社としてグループに招き入れることといたしました。

(3) 企業結合日

2020年12月29日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする出資持分の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として出資持分を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	515,000千円
取得原価		515,000千円

3. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

2【その他】

2020年10月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....1,277,011千円

(ロ) 1株当たりの金額.....40円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年11月20日

(注) 2020年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月12日

株式会社 壺 番 屋
取 締 役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今 泉 誠

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増 見 彰 則

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社壺番屋の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社壺番屋及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。